



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月5日

上場会社名 日本カーバイド工業株式会社
 コード番号 4064 URL <https://www.carbide.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉山 孝久
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 藤田 優
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5462-8224

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	30,143	12.3	1,248	35.8	1,415	31.8	951	31.4
2020年3月期第3四半期	34,361	6.3	1,944	12.1	2,076	18.4	1,385	29.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 548百万円 (42.1%) 2020年3月期第3四半期 948百万円 (26.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	112.61	112.55
2020年3月期第3四半期	169.26	169.04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	64,110	26,622	39.2
2020年3月期	61,242	25,962	39.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 25,110百万円 2020年3月期 24,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		40.00	40.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,500	9.0	1,900	25.7	2,000	29.0	1,200	31.1	142.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	8,599,129 株	2020年3月期	8,227,329 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	6,932 株	2020年3月期	6,798 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	8,446,639 株	2020年3月期3Q	8,187,933 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 2020年5月20日公表の通期連結業績予想を修正しております。
- 本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2021年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、個人消費や企業業績の落ち込みで経済活動が大きく停滞しましたが、感染が一旦収束に向かったことで段階的に再開され、緩やかな回復基調となりました。しかしながら、年末にかけて多くの国で感染が再拡大し、先行きは不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く事業環境においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置などの影響により減少した自動車生産台数が徐々に回復してきたものの、本格的な回復には至らず、フィルム・シート製品は総じて減販となりました。一方、新型コロナウイルスPCR検査薬向けなどの医薬関連の機能化学品や、テレワークの拡大や5Gの普及などに関連する電子素材は堅調に推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は30,143百万円と前年同期比4,217百万円(12.3%減)の減収、営業利益は1,248百万円と前年同期比695百万円(35.8%減)の減益、経常利益は1,415百万円と前年同期比661百万円(31.8%減)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は951百万円と前年同期比434百万円(31.4%減)の減益となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(電子・機能製品)

当該事業の主な取扱製品は、ファインケミカル製品や医薬品原薬・中間体などの機能化学品、粘・接着剤やトナー用樹脂などの機能樹脂、半導体用金型クリーニング材やセラミック基板などの電子素材であります。

機能化学品は、新型コロナウイルスPCR検査薬向けなどの医薬関連や半導体市場の好況に伴い、電子部材向け表面処理剤などが堅調に推移し、前年同期比増収増益となりました。機能樹脂は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、繊維や医薬向けの粘・接着剤が低調に推移し、前年同期比減収減益となりました。電子素材は、車載用途の回復に加え、テレワークの拡大や5Gの普及により、サーバーやタブレットなどのスマートデバイス向けセラミック基板が好調に推移、また、半導体市場の好況に伴い半導体用金型クリーニング材の販売も好調に推移し、前年同期比増収増益となりました。

以上により、当セグメントの売上高は13,074百万円と前年同期比559百万円(4.1%減)の減収となったものの、セグメント利益は1,405百万円と前年同期比236百万円(20.2%増)の増益となりました。

(フィルム・シート製品)

当該事業の主な取扱製品は、フィルム、ステッカー、再帰反射シートなどです。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、マーキングフィルムは、施工工事が中止や延期になり、看板用途の販売が低調に推移し、前年同期比減収減益となりました。ステッカーは、自動車市場の本格的な回復に時間を要し、ベトナムやインドネシアなどを中心にアセアン地域での販売が振るわず、前年同期比減収減益となりました。再帰反射シートは、主力の欧州やアジアでのカーナンバープレート向けの販売が低迷し、前年同期比減収減益となりました。

以上により、当セグメントの売上高は9,488百万円と前年同期比1,928百万円(16.9%減)の減収、セグメント損失は131百万円(前年同期は517百万円のセグメント利益)となりました。

(建材関連)

当該事業の主な取扱製品は、ビル・住宅用アルミ建材や内装建材用プラスチック押出製品などでありますが、網戸材は新型コロナウイルスの感染予防対策として換気の推奨による需要増により好調でしたが、主力の手摺、笠木等の販売は住宅着工戸数の減少などにより、低調に推移しました。

以上により、当セグメントの売上高は6,108百万円と前年同期比1,003百万円(14.1%減)の減収、セグメント利益はアルミ地金価格の低下によるプラス要因はあったものの、338百万円と前年同期比48百万円(12.4%減)の減益となりました。

(エンジニアリング)

当該事業の主な内容は、鉄鋼・化学・環境分野の産業プラントの設計・施工などでありますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響による海外向け工事案件の完工時期の遅れや、工事自体の延期や中止などから総じて振るわず、前年同期比減収減益となりました。

以上により、当セグメントの売上高は2,643百万円と前年同期比598百万円(18.5%減)の減収、セグメント損失は90百万円(前年同期は144百万円のセグメント利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前期末比2,867百万円増加し、64,110百万円となりました。

このうち、流動資産は、受取手形及び売掛金の減少はあったものの、現金及び預金や棚卸資産の増加などにより、前期末比2,502百万円増加し、35,744百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の取得や投資有価証券の時価上昇などにより、前期末比364百万円増加し、28,365百万円となりました。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前期末比2,207百万円増加し、37,487百万円となりました。

このうち、流動負債は、支払手形及び買掛金や未払法人税等の減少などにより、前期末比334百万円減少し、21,036百万円となりました。固定負債は、長期借入金の調達などにより、前期末比2,542百万円増加し、16,451百万円となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末の受取手形割引高を含む有利子負債残高は、前期末比2,288百万円増加し、19,711百万円となりました。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前期末比660百万円増加し、26,622百万円となりました。

このうち、株主資本は、新株予約権の行使による資本金及び資本剰余金の増加や親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前期末比1,088百万円増加し、19,353百万円となりましたが、その他の包括利益累計額は、円高に伴う為替換算調整勘定の減少などから、前期末比419百万円減少し、5,756百万円となりました。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末の39.9%から39.2%と0.7ポイント悪化しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の見通しにつきましては、売上高に変更はありませんが、営業利益及び経常利益は原材料価格の低下や諸経費の削減などにより、前回予想を上回る見込みであります。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、営業利益及び経常利益の増益に加え、投資有価証券の売却もあり、前回予想を上回る見込みであります。

このような状況を踏まえ、2020年5月20日に公表いたしました通期連結業績予想を以下のとおり修正しております。

2021年3月期 通期連結業績予想数値（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2020年5月20日発表)	42,500	1,200	1,250	600	73円22銭
今回修正予想(B)	42,500	1,900	2,000	1,200	142円07銭
増減額(B-A)	0	700	750	600	—
増減率(%)	0.0	58.3	60.0	100.0	—
前期実績 (2020年3月期)	46,699	2,557	2,817	1,741	212円57銭

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,924	12,001
受取手形及び売掛金	14,549	14,060
商品及び製品	4,026	4,622
仕掛品	1,903	2,047
原材料及び貯蔵品	2,222	2,417
その他	709	688
貸倒引当金	△95	△93
流動資産合計	33,241	35,744
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,007	6,824
機械装置及び運搬具(純額)	3,725	3,403
土地	11,594	11,921
その他(純額)	1,670	2,184
有形固定資産合計	23,997	24,333
無形固定資産	913	850
投資その他の資産		
その他	3,155	3,249
貸倒引当金	△65	△68
投資その他の資産合計	3,089	3,181
固定資産合計	28,000	28,365
資産合計	61,242	64,110

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,699	6,623
短期借入金	10,749	10,772
未払法人税等	309	173
賞与引当金	567	592
役員賞与引当金	32	25
その他	3,012	2,849
流動負債合計	21,370	21,036
固定負債		
長期借入金	6,603	8,939
退職給付に係る負債	3,531	3,588
役員退職慰労引当金	52	44
再評価に係る繰延税金負債	2,811	2,811
その他	909	1,067
固定負債合計	13,909	16,451
負債合計	35,280	37,487
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,055	7,288
資本剰余金	2,425	2,658
利益剰余金	8,796	9,418
自己株式	△12	△12
株主資本合計	18,265	19,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	291	502
繰延ヘッジ損益	0	△3
土地再評価差額金	6,255	6,255
為替換算調整勘定	△139	△746
退職給付に係る調整累計額	△232	△252
その他の包括利益累計額合計	6,176	5,756
新株予約権	4	2
非支配株主持分	1,516	1,508
純資産合計	25,962	26,622
負債純資産合計	61,242	64,110

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	34,361	30,143
売上原価	24,050	20,873
売上総利益	10,310	9,270
販売費及び一般管理費	8,366	8,021
営業利益	1,944	1,248
営業外収益		
受取利息	130	104
受取配当金	73	69
その他	252	274
営業外収益合計	456	448
営業外費用		
支払利息	103	101
その他	220	180
営業外費用合計	324	281
経常利益	2,076	1,415
特別利益		
投資有価証券等売却益	—	339
特別利益合計	—	339
特別損失		
固定資産除却損	—	116
投資有価証券等評価損	—	30
減損損失	—	108
特別損失合計	—	255
税金等調整前四半期純利益	2,076	1,499
法人税、住民税及び事業税	495	344
法人税等調整額	32	99
法人税等合計	528	444
四半期純利益	1,548	1,055
非支配株主に帰属する四半期純利益	162	104
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,385	951

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,548	1,055
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△151	202
繰延ヘッジ損益	△2	△3
為替換算調整勘定	△480	△668
退職給付に係る調整額	34	△37
その他の包括利益合計	△600	△506
四半期包括利益	948	548
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	776	531
非支配株主に係る四半期包括利益	172	17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子・機能 製品	フィルム・ シート製品	建材関連	エンジニア リング	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,759	11,391	7,099	2,274	34,524	△163	34,361
セグメント間の内部 売上高又は振替高	△126	25	12	967	876	△876	—
計	13,633	11,416	7,111	3,241	35,400	△1,039	34,361
セグメント利益	1,169	517	386	144	2,216	△272	1,944

(注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。

2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子・機能 製品	フィルム・ シート製品	建材関連	エンジニア リング	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,026	9,484	6,088	1,911	30,510	△367	30,143
セグメント間の内部 売上高又は振替高	48	4	20	732	803	△803	—
計	13,074	9,488	6,108	2,643	31,313	△1,170	30,143
セグメント利益又は 損失(△)	1,405	△131	338	△90	1,522	△274	1,248

(注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。

2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。